

止まり木



令和7年（2025年）

8月19日発行

第18号

大阪市立野田中学校

いよいよ ^{ラスト} lust 1週間！

夏休みも今日を含めあと1週間となりました。みんなは元気に過ごしていますか？

夏休みの宿題はもう終わっていますか？1学期の終業式でお話ししたように何事にも前向きに挑戦する日々を送っているでしょうか。もう1週間しかない。ではなく

まだ1週間あるという前向きな強い気持ちで最後までしっかり頑張ってください。

毎年この時期になると高校野球も終盤を迎え、終わるころには夏の終わりを感じます。大阪代表の東大阪大柏原高校は残念ながら1回戦で敗れてしましましたが、最後まですばらしいプレイを見せてくれました。近畿勢はベスト8に京都代表、昨年の優勝校、京都国際高校と兵庫代表、東洋大姫路高校が進出しました。今日、準々決勝です。残念ながら第1試合の京都国際高校は山梨学院高校に敗れてしまいました。東洋大姫路高校は第4試合に登場し、沖縄尚学高校と対戦します。本当に毎年毎年、勝敗ではなく、全力で白球を追いかける球児に感動と勇気をもらっています。今年も全球児を応援したいと思います。

話は変わりますが、今年のお盆はみんなはどんなふうに過ごしたでしょうか。家族や友人と楽しく過ごす時間、お墓参りなど祖先を敬う時間としてこのお盆の時には過ごしますが、本来お盆にはどんな意味があるのでしょうか。少し紹介したいと思います。

「お盆」は、仏教における「盂蘭盆会（うらぼんえ）」、または「盂蘭盆（うらぼん）」を略した言葉とされています。盂蘭盆会は、その昔、お釈迦様のお弟子である目連尊者（もくれんそんじや）が、亡き母を救う話に由来しています。目連尊者の母親は、子（目連尊者）を溺愛するあまり周囲の不幸に無関心だったことが原因で、餓鬼道に落ちてしまいます。餓鬼道に落ちた母親は逆さ吊りにされ、食べるものの飲むもの全てが火となり飢えと渴きに苦しんでいました。目連尊者は、苦しむ母親の姿を目にしてお釈迦様に相談したところ、夏の修行を終えた7月15日に僧侶たちを招き、供物をささげて供養するとよい」という教えを受けます。これに従って供養したところ、その功德によって母親は極楽往生を遂げたと言われています。こうした日本古来の風習と仏教の考えが混ざり合った結果、現在の日本におけるお盆は、家族や一族が集まり、ご先祖様や故人様を偲び、供養する行事として定着しています。

さあ、残りの夏休み、やるべきことをすべてやり切って悔いを残さないようにしてください。宿題をやり切るだけではなく、夏休みだからと心も体も油断してしまったいる人は**身だしなみも含め気持ちを切り替えて始業式を迎えてください**。また、夏休み中に困ったことや悩み事ができた人は**「1人で抱え込まず、信頼できる人に相談することの大切さ」**を忘れないでください。きっとみんなのことだから野田中学校の生徒として誇りをもって堂々と8月26日を迎えてくれると信じています。まだまだ暑い日が続きますが体調管理を忘れずに鍛えの夏を走り抜けてください。